



ビデオレター その2 英国より

2015年11月 日本のシンポジウムのために

フリーダ・ビレル（英国 HPV ワクチン被害児の会 UK AHVID 代表、Sanevax 事務担当）

こんにちは、フリーダ・ビレルです。はじめまして。私は英国 HPV ワクチン被害児の会の代表です。皆様方のシンポジウムに発言の機会を与えて頂き有り難うございます。HPV ワクチンは世界中の多くの少女に大変な害を引き起こしています。私たちは子供たちを救うために立ち上がらなければなりません。私たちは、日本の皆様方に友好の手を伸べるとともに、協力してその他の若い命が被害を受けるのを防ぐ努力をしたいと思えます。これからご覧に入れる録画は、その体験を皆様方と共有したいと願っている少女たちやその両親たちの一部ですが、どうぞその語りに耳を傾けてあげてください。英国の少女たちも、日本の少女と同様にサーバリックスやガーダシルでひどい被害を受けました。私たちは、これらの娘たちがどうすれば回復できるか、その方策を探すとともに、HPV ワクチンの危険性を世界中に気づかせるよう、一緒に協力して取り組まなければなりません。

アマンダ・デュー（ブロードリーの母）

こんにちは、私の名前はアマンダです、イギリスのサフォークに住んでいます。私も英国 HPV ワクチン被害児の会のメンバーです。私の娘は健康で元気な 16 歳の少女でした。ガーダシルの最初のワクチンを打ったときは、まったく何でもないように見えました。それから、今年の 1 月に 2 回目のワクチンを打ったのですが、それから 8 週間後、学校で発作を起こしました。意識を失い、強直間代けいれんが 1 分半ほど続きました。すぐに病院に運ばれたのですが、担当した神経内科医はただのひきつけ、よくあることで、二度と繰り返すことはないだろうと言いました。残念ながら、数週間後、娘は 2 回目の発作を起こしました。脳の CT では何も異常ありませんでした。本当はてんかんだったと説明を受けました。ブロードリー（娘）は今後 5 年間は抗てんかん薬を服用することになりますが、生涯服薬を続けなければならぬかもしれません。これは多分出生異常だと言われましたが、私たちにはその理由が思い当たりません。

けいれん発作に加えて、娘には手の振るえ、発汗過多、認知機能障害、記憶障害、一連の文章が思い出せない、やる気が起こらない、集中できない等、他の症状があり、そのため実際、勉強にも支障をきたしているのです。彼女はまた、人混みで不安感に襲われます。

ですから、私たちはすべての国のすべての政府に、速やかな調査・研究の開始と、少なくともそれらの研究すべてが安全性を確認するまではワクチン接種を差し止めるよう呼びかけたいと思えます。

ロイス・フェルドマン（ティーガンの母）

私の名前はロイス・フェルドマンです。私の娘ティーガンが HPV ワクチンのサーバリックスを最初に打ったのは 2011 年の 11 月でしたが、その副作用でエピペン（註*）を受ける必要が生じました。次のワクチン注射を受けたのは 2012 年のはじめ頃、予防接種センター

でした。2012年9月までに、ティーガンは関節痛を訴えるようになり、12月頃までには歩けなくなり、近所の病院に1週間ほど入院しました。どの医者も彼女のどこが悪いのか分かりませんでした。リウマチ科の医師が診て、**preradiographic axial spondyloarthritis** (放射線診断学的特徴をまだ備えていない脊椎関節症)と診断し、**HLA** タイプは **B-27** と診断しました。彼女はまた、**ビタミンD** 欠乏、**関節過可動症**、**繊維筋痛症**とも診断されました。

*エピペン 医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤

2014年迄には、食物アレルギーが潜在性に進行し、小麦、卵、ジャガイモ、ミルク、大豆に不耐性となりました。胃腸科の医師に診てもらい、セリアック病のテストとして内視鏡検査が行われましたが、そのとき彼女は無グルテン食を摂っていたので正しい診断は行われなかったのです。今もティーガンはグルテンやジャガイモには不耐性で、消化器チームは慢性疲労症候群とも診断しており、現在彼女は月2回心理療法もうけています。ティーガンは、お分かりのように、ときどき非常に落ち込むことがあり、過去には自傷行為を行ったこともあります。以前は毎日学校に通い、出席率も非常によかったです。こうした状況は彼女の教育にも酷く影響しました。2012年から2014年にかけては、出席率もかなり低下し、特別の手助けが必要になりました。彼女は今6年生ですが、各授業の間には休息する時間を設けてくれ、必要とあれば横になることも許され、学校側の対応には素晴らしいものがあります。

こんな状態は、ご推察の通り家族全体にも悪い結果をもたらしました。ティーガンは以前は活発で幸せな少女でしたが、今は着替えをするのにも、またベッドから起き上がることすら手助けが必要なのです。ご静聴有り難うございました。

ロージー・ウェザーヘッド

私の名前はロージー・ウェザーヘッド、いま20歳でサレーに住んでいます。スポーツ好きの女の子で、テニス、フットボール、水泳などの競技をやっており、レベルも非常に高いと言われていました。私が最初のHPVワクチンを打ったのは2008年の10月でしたが、それ以来私の生活はがらりと変わりました。関節が痛くて泣きながら家に帰るのです。私には二卵性双生児の姉妹がいるのですが、彼女のほうは腕に限局性の痛みがあるだけでしたから、一体何が起こったのか分かりませんでした。スポーツで始終怪我をしていましたから、母も私もただのスポーツ外傷と片付けていたのです。2回目の注射をうけたのは11月でしたが、今度もまた同様な痛みが増えたのです。しかし今回は痛みの強さも増強し、痛みの範囲も全身に広がりました。とても具合が悪かったので、3回目の注射は打ちませんでした。しかし、それでも何が原因なのか分かりませんでした。注射は打たないようにアドバイスされただけでした。それが11月のことです。

3月になると歩くことさえ辛くなりました。ある日目覚めると、関節がひどく痛んで、酷く疲れ、歩くこともできませんでした。**Great Ormond Street** 病院 (ロンドンの小児病院) など、いろんな病院に予約し、最終的には筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の診断を受けました。

ついに約6ヶ月は学校を休まなければならなくなりましたが、その後理学療法士や作業療法士の助けを受けて徐々に回復し、次第に具合が悪いのは日に数時間だけになりました。いま私はどうにか自分の体調をコントロールすることはできますが、それでも何よりも好きだっ

たスポーツはすることができません。毎日、私は筋肉痛や関節痛、頭痛、咽頭痛、嘔気と闘っていますが、これらすべての症状を誰も分かってくれてはいないようです。あの頃、もし今の状況が分かっていたら、そしてサーバリックス子宮頸がんワクチンでこんなにも長いこと具合が悪くなると知っていたら（こんなワクチンなど受けなかったのに）と思うばかりです。ご静聴ありがとうございます。

スティーヴ・ヒンクス（ルーシーの父）

こんにちは、私達の娘のルーシーはサーバリックスを 3 回注射しました。最初の 2 回を受けたのは 2010 年の 10 月と 11 月でした。注射の影響は比較的少なく、感冒様症状、頭痛、疲労感、関節痛くらいで、副作用だとは思いませんでした。3 回目の注射を受けたのは 2011 年の 5 月でしたが、注射後すぐに症状が現れ、日に日に具合が悪くなり 8 週間には倒れ 2011 年 9 月には、まるで昏睡のように眠ってしまい、目も開かず、話すこともできませんでした。日中眠っている時間も長くなり、毎日 23 時間は眠っているようになりました。医師達は脳腫瘍、脳炎、白血病などを疑いましたが、どこが悪いのか診断がつきませんでした。入院したのですが、医師は娘に「どこも悪くない、すべては神経性のものだから、頑張れ」というのです。絶えず頭痛がして、起きていられないのに、何と言えればいいのでしょうか。

2011 年 9 月には、まるで昏睡のように眠ってしまい、目も開かず、話すこともできませんでした。液状にした食物をスプーンで何とか口に入れてやるのですが、娘はかろうじて半昏睡状態で、この状態が 3 ヶ月続きました。娘は、2012 年から 2013 年にかけては徐々に回復してゆきましたが、再発も繰り返しました。絶えず痛みと傾眠が続きました。そして 2014 年も娘を覚醒させるのは難しい状態でした。決して自分から覚醒することはありませんが、しつこく起こすことで毎日 3~4 回は目覚め、その都度最低 1 時間は起きていることができました。こうした状態が 18 ヶ月ほど続き、2015 年 7 月には改善し、今では自分から覚醒できるようになり、1 日の睡眠時間も約 12 時間となりました。しかし今も再燃するのではないかと見守っているところです。有り難うございました。

エレン・ベリーマッキントッシュ

こんにちはエレンです。私は 2010 年に HPV ワクチンを打ちました。そのあと何度も何度もいろんなウイルス性疾患にかかり、ぜんぜん治らないのです。辛うじて学校には行きましたが、望んでいた 6 年生にも進級できませんでした。その頃までは家を出るといつも車椅子を使っていたからです。大学へも行きましたが、思ったような成績もとれず、授業の大部分を自宅で受けました。でも今は大学を 1 年間留年し、好きなことも沢山あるのですが中止しなければなりません。水泳もスポーツもやめなければならないのです。チャリティー行事やその他計画していた沢山のこともやっていません。いまは、すべてが変わってしまったのです。